

## ワニがでてくる絵本

長くて大きな口と尖ったキバ、ごつごつした巨体に水面からのぞくぎょろっとした目…。親しみやすいとは言いがたい動物・ワニですが、絵本ではたくさんの作品に登場しています。今回はそんな動物・ワニがでてくる絵本をいくつかご紹介したいと思います。

1冊目は、ねじめ正一/文 コマツシンヤ/絵『ゆかしたのワニ』です。

「ぼくんちのゆかしたにはワニがいて…」と驚きの告白から始まるこのお話。少年は毎晩ワニの歯磨きをしに七つ道具を抱え、床下に降りていきます。ワニも歯磨きだと分かると口を大きくあけて待ち構えます。一見仲が良さそうな少年とワニ。でもかまれないうようにつかえ棒をしたり、あわや少年が飲み込まれそうになる場面も…！なぜそこまでして世話をしあげるのは、少年とワニの不思議な関係性も気になるところです。漫画家コマツシンヤさんのリアルで可愛らしいイラストにも注目の一冊です。

2冊目は、小風さち/文 山口マオ/絵『わにわにのおおけが』です。

子どもたちに大人気の「わにわに」シリーズ。今回ご紹介するのはケガをしてしまうおはなしです。工作をしようとハサミを使っていたわにわにが誤って指を切ってしまいます。思わず「うおお！」と野太い声をあげるわにわに。救急箱を取り出し包帯を大げさにぐるぐると何回も巻き、ようやく工作を再開。そうまでして作りたかったモノとは？強面の見た目とはちょっと違う、真面目で愛嬌あふれる姿がステキな作品です。

絵を担当している山口マオさんは、以前、当館でイベントをして頂いたことがあります。その際に子どもたちと一緒に描いたわにわにが当館おやこコーナー壁面に飾られていますので、ご来館の際にはぜひチェックしてみてくださいね。

3冊目は、マリア・エウヘニア・マンリケ/文 ラモン・パリス/絵『カイマンのクロ～人とくらしワニ～』です。

ベネズエラでの実話を基にしたお話です。生後わずか3日でみなしごになった赤ちゃんワニを引き取った宝石商のファオロは「クロ」と名付け、一緒に暮らすことを決めます。クロのために中庭にプールを作り、自身の結婚式にも参列させ、妻のアンヘラとも仲良く過ごしていました。しかしある時ファオロが病気になってしまい…。家族の一員として大切にされて過ごしたワニの一生を描いたこの作品。ストーリーもさることながら、ページを開くと広がる南米の色彩豊かな世界も同時に楽しんで頂ける絵本となっています。

図書館には、ワニの絵本はもちろん、さまざまな動物が登場する作品が他にもたくさんあります。ぜひ手にとってみてくださいね。